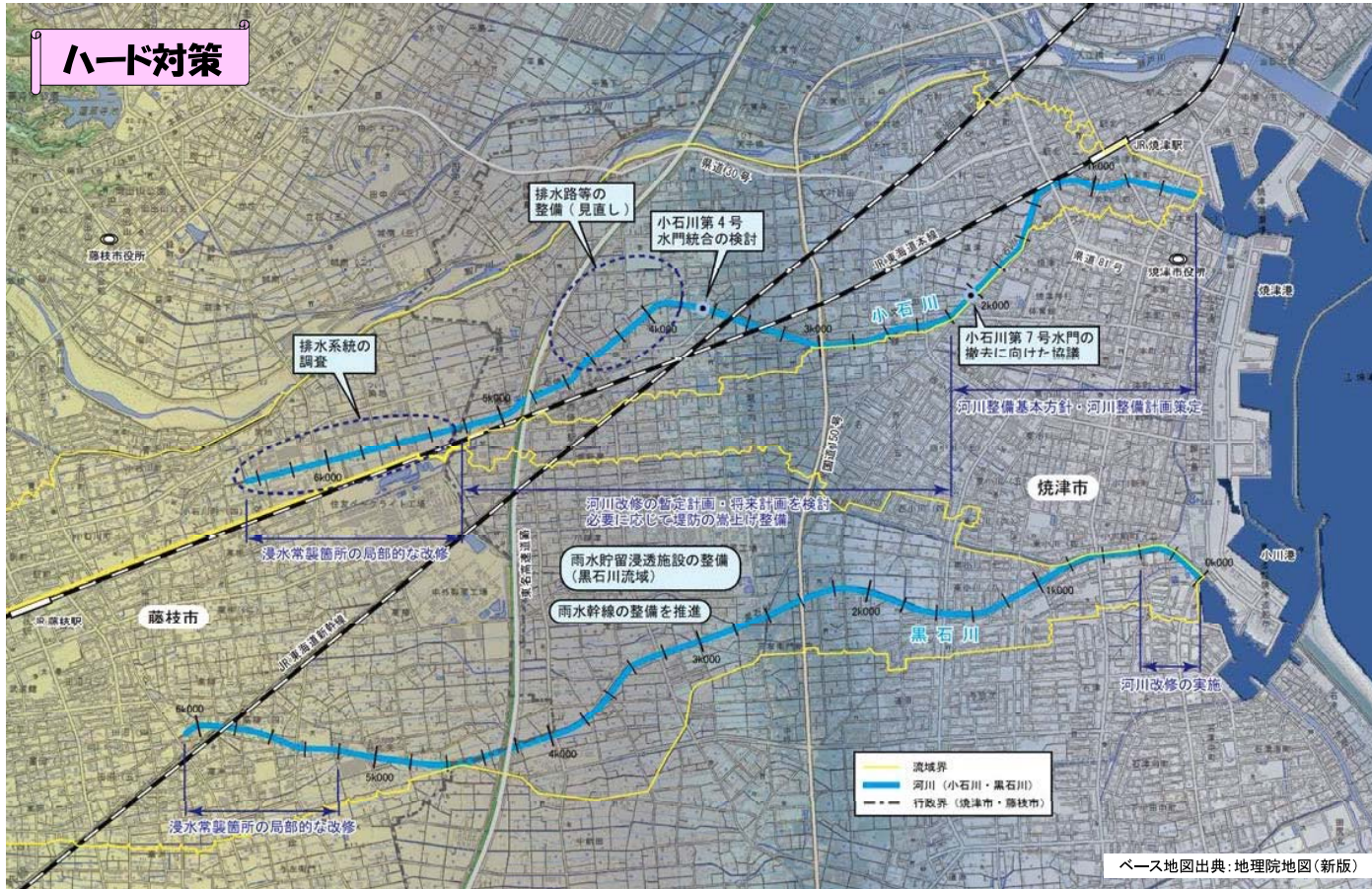


アクションプラン (H29～H33) の目標

小石川・黒石川流域内においてハード対策とソフト対策を組み合わせた総合的な治水対策を進め、平成25年7月降雨と同規模の降雨(時間雨量63mm)に対し、床上浸水の解消など浸水被害の軽減を目指します。

全国的には、平成25年7月17日の時間雨量63mmを超えるような大雨が各地で降っているため、住民の皆さんとの協働によるさらなる減災対策が必要です!!

ハード対策



ベース地図出典: 地理院地図(新版)

◆ 農業取水堰の改良・統廃合

県による河道改修に先立ち、現在川の流れを妨げている小石川第7号水門を撤去することにより、洪水の流下をスムーズにします。



出水時の小石川第7号水門

小石川流域

◆ 排水系統(排水先)の見直し

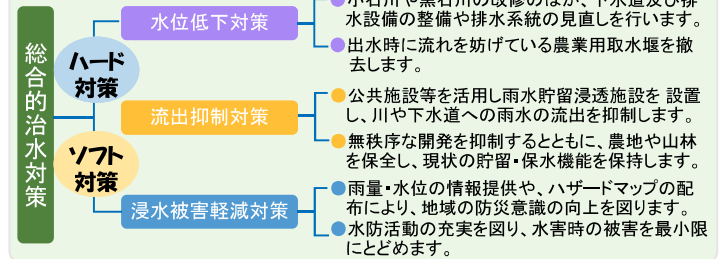
出水時に小石川に集中してしまう洪水を、排水系統の見直しや分流を行うことにより、別系統の水路へ導き、氾濫を防ぎます。



焼津市豊田地区付近(H16洪水)

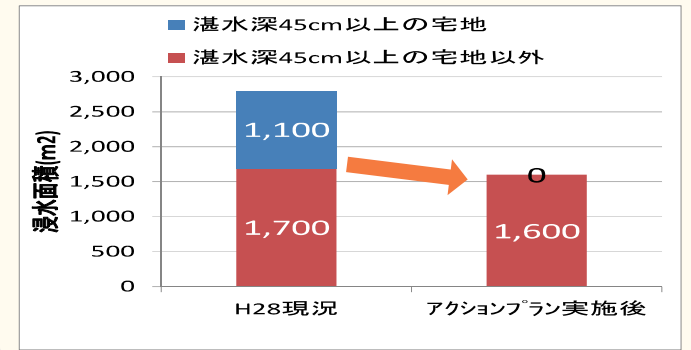
小石川流域

アクションプランの体系



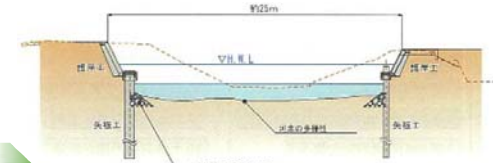
アクションプランの効果予測

本アクションプランの対策を実施後に、平成25年7月の降雨と同規模の雨が降った場合、床上浸水は解消し、床下浸水する範囲は1,700m²から1,600m²に縮小する見込みです。



◆ 河川改修

県管理区間において、栃山川水系河川整備計画に基づく河川改修(矢板護岸工の整備)を実施します。



河川改修イメージ

黒石川流域

◆ 高洲地区での浸水被害軽減対策

下流に影響を与えない範囲で、黒石川の河川改修を行います。洪水をスムーズに黒石川に排水するため、排水施設の整備を行います。雨水貯留施設を設置できる場所がないか検討します。



藤枝市高柳付近(H25洪水)

黒石川流域

小石川・黒石川流域総合的治水対策アクションプラン ～平成30年度の実績と今後の対策、流域でのノフト～

平成30年度の実績と今後の予定

小石川流域

《平成30年度の実績》

河川改修

・五ヶ堀之内地区において、堤防嵩上げ等を実施(L=90m)しました。[焼津市]

排水系統(排水先)の見直し

・豊田地区において雨水を分流する排水路や逆流防止施設(フラップゲート:小型N=1基)の整備を実施しました。[焼津市]

第7号水門の撤去に向けた協議

・第7号水門撤去に向けて、関係機関協議(H30.12)、地元住民との協議(H31.1)を行いました。[焼津市、大井川土地改良区]

・事業化に向けて、測量設計業務及び事業計画作成業務を発注しました。[大井川土地改良区]

《今後の予定》

・五ヶ堀之内地区において、堤防嵩上げ等(L=50m)を実施します。

・必要に応じて雨水幹線水路の整備を行います。

・現地調査を行い、必要に応じて排水路の改修を実施します。

(主な対策と実施スケジュール)

施策メニュー (ハード対策)	アクションプラン					別計画
	H29	H30	H31	H32	H33	
水位低下対策						H34以降
○河川改修(県)						平成34年度以降も河川整備計画として継続実施
○河川改修(焼津市)						平成31年度に完了予定
○河川改修(藤枝市)						平成34年度以降も必要に応じて継続実施
○排水系統(排水先)の見直し						アクションプラン期間内に完了予定
○農業用取水堰の改良・統廃合						7号水門:平成32年度に完了予定 その他必要に応じ継続

排水系統(排水先)の見直し:暗渠排水管敷設



黒石川流域

《平成30年度の実績》

河川改修

・河川改修(左岸:鋼管矢板護岸工L=80m、右岸:鋼矢板護岸工L=27m)を実施しました。[島田土木]

排水系統(排水先)の見直し

・高洲地区において流下能力不足の排水路の局所的な改修(L=44m)を実施しました。[藤枝市]

・雨水管理総合計画のシミュレーションを行い、河川改修や雨水幹線、貯留施設整備等の今後の方針について検討しました。[藤枝市]

《今後の予定》

・引き続き河口部の河川改修を実施します。

・現地調査を行い、必要に応じて排水路の改修を実施します。

・精度を上げたシミュレーションを行い、浸水対策のための基本計画を策定します。

(主な対策と実施スケジュール)

施策メニュー (ハード対策)	アクションプラン					別計画
	H29	H30	H31	H32	H33	
水位低下対策						H34以降
○河川改修(県)						アクションプラン期間内に完了予定
○河川改修(藤枝市)						アクションプラン期間内に完了予定
○下水道(雨水幹線)の整備						アクションプラン期間内に完了予定
○排水系統(排水先)の見直し						アクションプラン期間内に完了予定

河川改修:鋼管杭打設状況



流域でのノフト対策

- 豊田公民館(浸水常襲箇所)を含め、焼津市内に13箇所の土のうステーションを設置しました。
- 小石川の境橋と黒石川の新黒石橋に危機管理型水位計を設置しました。
- 藤枝市内の宅地・分譲地(5件・44区画)に浸透枘を設置しました。
- 焼津市・藤枝市で水害に関する出前講座を実施し、防災意識の啓発を行いました。
- インターネットで公開している「焼津市水防監視システム」を改良しました。
- 広報誌(H30.8.5)に水害に関する特集記事を掲載しました(藤枝市)。
- 焼津市内2校の小学校を対象に、水害に関する夏休み研究をサポートしました。
- 水防訓練を実施(藤枝市)し、水位計・雨量計の活用方法を紹介しました。

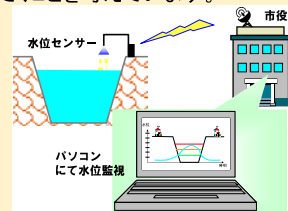
住民の皆様と協働して、減災に努めています!!



土のうステーション(豊田公民館)

◆焼津市水防監視システムの構築

河川水位を常時観測しています。今後は水位情報等の見える化を推進していきます。これにより、住民のみなさんの自主的な避難に役立てていただくことを考えています。



◆雨量・水位データの公表(県)

静岡県のHPで、県下の雨量・水位データの公表をしています。(SIPOS-RADAR)

※お近くの雨量は藤枝または中港でご確認ください。

■パソコンで

URL: <http://sipos.shizuoka2.jp/sipos/>

静岡県の水位、雨量、気象情報を確認するなら

サイポスレーダー

検索

■携帯電話で



左のQRコードを携帯電話で読み取ってください。携帯電話版サイポスレーダーにアクセスします。

◆河川管理施設等の適切な維持管理

護岸や排水機場、水門等の機能を確保するために、適切な維持管理を行います。

平成30年5月23日に「志木橋原地域大規模氾濫減災協議会」を設置しました。

「水防災意識社会の再構築」に向けて、小石川・黒石川流域を含む島田土木事務所管内の全市町・全流域を対象とした減災協議会です。「水防災意識社会の再構築」とは、「堤防などの施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生する。」との前提にたつて、大洪水が発生した場合でも、逃げ遅れをなくす、経済被害を最小化するなど、減災に向けた取組を社会全体で推進する取組です。「大井川大規模氾濫に関する減災対策協議会(H28.4設立)」と「志木橋原地域豪雨災害減災協議会(H29.2設立)」を統合したもので、目標の達成に向けて、対策を実施していきます。

▶ホームページ URL: <http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/gensai/index.html>

▶皆様の声をぜひお聞かせ下さい。お待ちしております。

- ・ 静岡県島田土木事務所 企画検査課 TEL: 0547-37-5272
- ・ " 工事第2課 TEL: 0547-37-1086
- ・ 焼津市 河川課 TEL: 054-626-1118
- ・ 藤枝市 河川課 TEL: 054-643-3516

【平成31年〇月更新】

▶アクションプランのHP URL: <http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/shimada/oshirase/action.html>

対策メニュー	実施内容	実施機関	2016年度 (H28) までに実施した対策	アクションプラン 短期対策メニュー					2018年度 (H30) 末時点進捗率の評価 (○: 計画進捗率を上回る) (●: 計画進捗率より) (△: 計画進捗率を下回る)	対策を実施する上での問題点・課題	左記問題点・課題の解決策・対応方針
				2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (H32)	2021年度 (H33)			
1 河川改修	河川整備基本方針及び河川整備計画の策定と計画に基づく河川改修の実施	県 (河川)	平成26年度から基本高水及び河川整備計画の検討に着手。	<計画> 河川整備基本方針の策定に向けて県河川審議会で審議。 (進捗率: 20%) <実績> 県河川審議会にて現状と課題を審議。 (進捗率: 10%)	<計画> 基本高水の方針の策定・公表に向け河川審議会で審議。 (進捗率: 40%) <実績> 河川審議会にて治水計画を審議。 (進捗率: 15%)	<計画 (見直し)> 河川整備基本方針の策定に向けて河川審議会で審議。 (進捗率: 40%) <実績> 河川審議会にて治水計画を審議。内容を書類。 (進捗率: 40%)	<計画> 河川整備基本方針の策定・公表に向け河川審議会で審議。 (進捗率: 80%)	<計画 (見直し)> 河川整備計画に基づく河川改修に向けた検討に着手。 (進捗率: 100%)	△	計画策定に必要な検討を策定に進め、早期の計画策定を目指す必要がある。	検討作業のスケジュール管理を適切に行い、工程に沿った計画検討に努める。
	暫定計画及び将来計画の策定と計画に基づく河川改修の実施	焼津市	平成16年度から小石川沿線の浸水常態箇所へバレットを設置 (左右岸でL=2.7m)。	<計画> 五ヶ塚之内地区において、堤防高さ上げを実施 (L=30m)。 (進捗率: 20%) <実績> —	<計画 (見直し)> 五ヶ塚之内地区において、堤防高さ上げを実施 (L=120m)。 (進捗率: 90%) <実績> 五ヶ塚之内地区において、堤防高さ上げ等を実施 (L=90m)。 (進捗率: 70%)	<計画 (見直し)> 五ヶ塚之内地区において、堤防高さ上げ等を実施 (L=50m)。 (進捗率: 100%)	<計画 (見直し)> 必要に応じて堤防の高さ上げ等の実施。 (進捗率: 40%)	<計画 (見直し)> 必要に応じて堤防の高さ上げ等の実施。 (進捗率: 40%)	△	浸水被害の軽減効果が期待される対策実施箇所の選定が必要。	地元要望、現地調査及びシミュレーション等により対策効果が高い箇所を選定して実施する。
	暫定計画及び将来計画の策定と計画に基づく河川改修の実施	藤枝市	浸水常態箇所において、局所的な河川改修を実施。	—	<計画> 現地調査等を行い、必要に応じて治水常態箇所において局所的な河川改修を実施。 (進捗率: 20%) <実績> 現地調査等を行い、必要に応じて治水常態箇所において局所的な河川改修の実施を検討する。 (進捗率: 20%)	—	—	—	—	○	他地区との優先度を調査し、必要な予算確保に努めるとともに、地元の協力を得て工事を実施する。
2 下水道 (雨水幹線) の整備	下水道 (雨水幹線) の整備による流下能力の確保 (目標規模: 年度進捗率概ね1/7の倍増)	焼津市	流域内の雨水幹線の整備完了。	—	—	—	—	—	—	—	—
	焼津市	平成29年度から3排水区中1排水区 (1排水区) の整備が完了 (一創未整備を含む)。	<計画> 下水道事業による治水対策を実施するために雨水管理総合計画を策定し、そのシミュレーション結果等を踏まえ、全体計画を策定。 (進捗率: 20%) <実績> 効果的かつ総合的な治水対策の実施を図るため、雨水管理総合計画を策定を進めた。 (進捗率: 20%)	<計画> 雨水管理総合計画及び全体計画に基づき、雨水幹線の整備を検討。 (進捗率: 40%) <実績> 流域の水道整備及びフラップゲート設置に向けて検討する。 (進捗率: 40%)	<計画 (見直し)> 必要に応じて水道整備を実施する。 (進捗率: 60%)	—	—	—	○	実現性や実施時期等について関係機関との調整及び予算確保が必要。	他地区との優先度を考慮し、必要な予算確保に努めるとともに、地元の協力を得て工事を実施する。
3 農業取水施設の改良・統合	河川改修に合わせた農業取水施設の改良等は形態適合に向けた協議の推進	土地改良区 (農林)	全ての水門は水位感知システムにより自動的に水門上流部から下流へ放流が可能。特殊設備を設置し、設備の故障や老朽化に備えた予防保全を実施。	<計画> 第7号水門の撤去に向けた関係機関による協議を実施。 (進捗率: 0%) <実績> —	<計画> 第7号水門の撤去に向けた関係機関による協議を実施。 (進捗率: 0%) <実績> 撤去工場の測量設計及び事業計画の進行。 (進捗率: 30%)	<計画 (見直し)> 事業計画を再検討し、国庫補助事業の採択申請を行う。撤去工事にかかる関係機関及び地元との協議。 (進捗率: 30%)	<計画 (見直し)> 協議が進展した場合は、撤去工事に着手。 (進捗率: 100%)	<計画 (見直し)> 協議が進展した場合は、撤去工事に着手。 (進捗率: 100%)	◎	・水門の撤去方法に関する関係機関との協議。 ・早期事業化に向けた予算の確保。 ・施工時の騒音振動対策、通行規制等にかかる地元住民との合意形成。	速やかに撤去計画の策定及び関係機関との協議を推進し、早期の実施を目指す。
	焼津市	—	<計画> 第7号水門の撤去に向けた関係機関による協議を実施。 (進捗率: 20%) <実績> —	<計画> 第7号水門の撤去に向けた関係機関による協議や地元住民との調整を実施。 (進捗率: 40%) <実績> —	<計画 (見直し)> 第7号水門の撤去に向けた関係機関による協議や地元住民との調整を実施。 (進捗率: 60%)	<計画 (見直し)> 第7号水門の撤去に向けた関係機関による協議や地元住民との調整を実施。 (進捗率: 80%)	<計画 (見直し)> 第7号水門の撤去に向けた関係機関による協議や地元住民との調整を実施。 (進捗率: 100%)	△	第7号水門からの取水機能の代替措置の確保や地元住民の合意形成を図る必要がある。	第7号水門からの取水機能の代替措置に関する調査・検討を実施し、整備確認上の協議や地元住民との調整を計画的に進め、早期に対策方針を決定する。	
	藤枝市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4 排水系統 (排水先) の見直し	排水路の整備状況の把握と必要な排水路整備の実施	焼津市	—	<計画> 排水路の整備状況の把握と必要な排水路整備の実施。 (進捗率: 0%) <実績> —	<計画> 排水路の整備状況の把握と必要な排水路整備の実施。 (進捗率: 60%) <実績> —	<計画 (見直し)> 排水路の整備状況の把握と必要な排水路整備の実施。 (進捗率: 60%)	<計画 (見直し)> 排水路の整備状況の把握と必要な排水路整備の実施。 (進捗率: 100%)	<計画 (見直し)> 排水路の整備状況の把握と必要な排水路整備の実施。 (進捗率: 100%)	○	対策実施に必要な予算の確保が必要。	必要な予算確保に努めるとともに、地元の協力を得て工事を完了させる。
	藤枝市	排水の分水や能力不足の排水路のハイパス水路を整備。	<計画> 排水の分水や能力不足の排水路のハイパス水路を整備。 (進捗率: 20%) <実績> —	<計画> 排水の分水や能力不足の排水路のハイパス水路を整備。 (進捗率: 40%) <実績> —	<計画 (見直し)> 排水の分水や能力不足の排水路のハイパス水路を整備。 (進捗率: 60%)	<計画 (見直し)> 排水の分水や能力不足の排水路のハイパス水路を整備。 (進捗率: 100%)	△	対策実施に必要な予算の確保が必要。	他地区との優先度を考慮し、必要な予算確保に努めるとともに、地元の協力を得て工事を実施する。		
5 河川の適切な維持管理	必要に応じて河川内の堆積土の撤去や樹木の伐採などによる流下断面の確保	県 (河川)	河川状況の選別し、必要に応じて選別等を実施。	<計画> 河川選別を年1回実施。 (進捗率: 20%) <実績> 河川選別をH29.5に実施。 (進捗率: 20%)	<計画> 河川選別を年1回実施予定。必要に応じて選別や伐採等を実施。 (進捗率: 40%) <実績> 河川選別をH30.5に実施。 (進捗率: 40%)	—	—	—	○	現状を的確に把握し、適時・適切に対応する必要がある。	河川選別を計画的に実施するとともに、対応に必要な予算確保に努める。
	焼津市	河川選別を行い、樹木伐採等を実施。市内全域で年2回、地域住民が参加・河川清掃を実施。リバーフレンドシップ制度の登録 (1回/年)。	<計画> 河川選別を年1回 (H29.7) 実施。 (進捗率: 20%) <実績> —	<計画> 河川選別を年1回実施予定。必要に応じて選別や伐採等を実施。 (進捗率: 40%) <実績> —	—	—	—	—	○	定期的に河川選別を行い、河川の状況を的確に把握する必要がある。	定期的に河川選別を行い、必要な対策を実施する。
	藤枝市	河川状況の選別し、必要に応じて選別等を実施。	<計画> 河川選別を年1回実施。 (進捗率: 20%) <実績> —	<計画> 河川選別を年1回実施予定。必要に応じて選別や伐採等を実施。 (進捗率: 40%) <実績> —	—	—	—	—	○	定期的に河川選別を行い、現状を的確に把握し、適時・適切に対応する必要がある。	河川選別を計画的に実施するとともに、対応に必要な予算確保に努める。

対策メニュー	実施内容	実施機関	2016年度 (H28) までに実施した対策	アクションプラン 短期対策メニュー					2018年度 (H30) 末時点進捗率の評価 (○:計画進捗率を上回る) (◎:計画進捗率通り) (△:計画進捗率を下回る)	対策を実施する上での 四角点・課題	左記四角点・課題の 解決策・対応方針
				2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (H32)	2021年度 (H33)			
6	雨水貯留浸透施設の設置 流域内の学校や公園などの公共施設の敷地内で雨水の一時貯留を可能にする施設の設置	黒 (河川)	—	<計画> 農管理施設へ雨水貯留浸透施設の整備が可能な検討を実施。 (進捗率: 20%) <実績> (進捗率: 0%)	<計画> 農管理施設へ雨水貯留浸透施設の整備が可能な検討を実施。 整備可能な農管理施設における整備に向けて関係機関との調整を実施。 (進捗率: 40%) <実績> (進捗率: 0%)	<計画> 整備可能な農管理施設における整備に向けて計画等を検討し、整備計画を立案。 (進捗率: 60%)	<計画> 整備可能な農管理施設における雨水貯留浸透施設の整備を着手。 (進捗率: 80%)	<計画> 整備可能な農管理施設における雨水貯留浸透施設の整備を実施。 (進捗率: 100%)	△	実現性や実施方法等を検討し、対象施設を選定して整備計画を立案する必要がある。	対象施設の選定、整備計画の立案を目指す。施設管理局との調整を進める。
		焼津市	平成16年度～平成28年度に公共施設で2,100㎡の雨水貯留施設を設置。	<計画> 市管理施設への雨水貯留浸透施設の整備について、関係課と調整を行った。 (進捗率: 20%) <実績> (進捗率: 20%)	<計画> 市管理施設への雨水貯留浸透施設の整備について、関係課と調整を実施。 整備可能な場合、整備に向けて関係機関との調整を実施。 (進捗率: 40%) <実績> (進捗率: 40%)				○	雨水貯留浸透施設の設置について関係課と調整し、実施可能な対策を検討する必要がある。	雨水貯留浸透施設の設置について関係課と調整を進める。
		藤枝市	—	<計画> 雨水事業による治水対策を実施するための雨水管理総合計画を策定し、そのシミュレーション結果等を踏まえ、全体計画を策定。 (進捗率: 30%) <実績> 効率的かつ総合的な治水対策の策定を図るため、雨水管理総合計画の策定を進めた。 (進捗率: 20%)	<計画> 雨水管理総合計画及び全体計画に基づき、雨水事業による治水対策の整備を検討。 (進捗率: 40%) <実績> 雨水貯留浸透施設の整備可能な箇所について検討。 (進捗率: 40%)				○	実現性や実施時期等について関係機関との調整及び予算確保が必要。	地区区との優先度を考慮し、必要予算確保に努める。
7	透水性舗装の整備 歩道・駐車場の透水性舗装の促進 (東名高速道路、青道、市道、工場、大型ショッピングセンター、大型駐車場など)	黒 (河川)	—	—	<計画> 歩道などの整備の際は積極的に透水性舗装を採用。 (進捗率: 25%) <実績> (進捗率: 0%)				△	透水性舗装を施工する箇所のルール作りが必要。	透水性舗装を実施するため、道路管理者と協議を進め、整備可能な箇所の透水性舗装を実施する。
		焼津市	市道中横通天王線の歩道を透水性舗装で整備 (A=2,100㎡)。	<計画> 歩道などの整備の際は積極的に透水性舗装を採用。 (進捗率: 25%) <実績> (進捗率: 25%)					○	道路管理者との連携が必要。	道路管理者と連携し、歩道等は積極的に透水性舗装を実施する。
		藤枝市	—	<計画> 歩道などの整備の際は積極的に透水性舗装を採用。 (進捗率: 25%) <実績> (進捗率: 0%)					△	透水性舗装を施工する箇所のルール作りが必要。	透水性舗装を実施するため、道路管理者との協議を進める。
8	各戸での流出抑制施設設置の推進 各戸での雨水貯留タンクや浸透槽などの雨水流出抑制施設設置の啓発・促進	焼津市	開発許可が必要な1,000㎡以上の宅地分譲事業に、各区画毎の雨水貯留浸透施設を設置。	<計画> 各戸での流出抑制のため、宅地分譲事業において雨水貯留浸透施設を義務。 設置実績: 3件、25区画 (進捗率: 20%) <実績> (進捗率: 20%)	<計画> 各戸での流出抑制施設の設置を促進する。 (進捗率: 40%) <実績> (進捗率: 40%)				○	各戸での雨水流出抑制施設の設置の必要性を説明する必要がある。	当該地域の現状と課題及び雨水流出抑制施設の設置について説明を行う。
		藤枝市	—	<計画> 各戸での流出抑制施設の設置を優先。 (進捗率: 25%) <実績> 宅地分譲開発において雨水貯留浸透施設を設置。 設置実績: 3件、24区画 (進捗率: 25%)	<計画 (見直し)> 各戸での流出抑制施設の設置を優先。 (進捗率: 25%) <実績> 平成29年度から雨水貯留浸透施設設置補助金制度創設に向け浸透槽等の設置等の検討を進める。 (進捗率: 50%)	<計画 (見直し)> 各戸での流出抑制施設の設置を優先。 (進捗率: 100%)		○	浸透槽等の設置と補助金制度創設のための財源確保が必要。	地下水位を既存資料等で調査し、浸透槽を設置する。他市の事例を参考に補助要件、補助額等を決定する。	
		流域住民	—	<計画> 各戸での雨水貯留タンクや浸透槽等の流出抑制施設の設置を推進する。 <実績> 小石川流域内における各戸での流出抑制施設の設置実績: 3件、25区画。	<計画> 各戸での雨水貯留タンクや浸透槽等の流出抑制施設の設置を推進する。 <実績>				—	—	—
9	農地の保水機能の保全 既市の水田や耕作地など保水機能を維持し続けるための農地の適正管理の指導	焼津市	農業者へ農地保全に関する協力を依頼。	<計画> 農業者へ農地保全に関する協力を依頼。 (進捗率: 20%) <実績> (進捗率: 20%)	<計画> 農業者へ農地保全に関する協力を依頼。 (進捗率: 40%) <実績> (進捗率: 40%)				○	当該流域における農地の保水機能を保全する必要がある。	既存資料等を活用したPR方法について検討する。
		藤枝市	農業者へ農地保全に関する協力を依頼。	<計画> 農業者へ農地保全に関する協力を依頼。 (進捗率: 20%) <実績> (進捗率: 20%)	<計画> 農業者へ農地保全に関する協力を依頼。 (進捗率: 40%) <実績> (進捗率: 40%)				○	当該流域における農地の保水機能を保全することの重要性を周知する必要がある。	農地の保水機能に関する啓発方法について検討し、実施する。
10	防災調整池などの有効利用 既設の防災調整池やため池の管理者に対する適正管理の指導	焼津市	防災調整池等の管理者に対する適正な指導を実施。	<計画> 防災調整池等の管理者への適正な指導を実施。 (進捗率: 20%) <実績> (進捗率: 20%)	<計画> 防災調整池等の管理者への適正な指導に努める。 (進捗率: 40%) <実績> (進捗率: 40%)				○	防災調整池を適正に維持管理する必要がある。	適正な管理が行われるよう、必要に応じて管理者に指導を行う。
		藤枝市	防災調整池等の管理者に対する適正な指導を実施。	<計画> 防災調整池等の管理者への適正な指導を実施。 (進捗率: 20%) <実績> (進捗率: 20%)	<計画> 防災調整池等の管理者への適正な指導に努める。 (進捗率: 40%) <実績> (進捗率: 40%)				○	当該流域における防災調整池の重要性を周知する必要がある。	防災調整池の適正な管理が行われるよう、必要に応じて管理者に指導する。

小石川・黒石川流域総合的治水対策アクションプラン 進捗管理表 【小石川流域】 ソフト対策 (1/2)

対策メニュー	実施内容	実施機関	2016年度 (H28) までに実施した対策	アクションプラン 短期対策メニュー					2018年度 (H30) 現時点進捗率の評価 (◎:計画進捗率を上回る) (○:計画進捗率を達し) (△:計画進捗率を下回る)	対策を実施する上での 問題点・課題	左記問題点・課題の 解決策・対応方針	
				2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (H32)	2021年度 (H33)				
ハードウェア	11 洪水ハザードマップなどの作成・周知	黒 (河川)	インターネットにより浸水想定区域図 (H21年4月公表) を公開。	「計画・実績」インターネットによる浸水想定区域図の周知を実施。	「計画・実績」インターネットに加え、水防訓練の啓発や出前講座などにより浸水想定区域図を周知する。				—	特になし	—	
			焼津市	浸水想定区域図が掲載されている市のホームページを市民に案内。	「計画・実績」市のホームページを案内し、浸水想定区域図の周知を実施。	「計画・実績」市のホームページを案内し、浸水想定区域図を周知する。				—	特になし	—
			藤枝市	—	「計画・実績」市のホームページを案内し、浸水想定区域図の周知を実施。	「計画・実績」市のホームページを案内し、浸水想定区域図を周知する。				—	特になし	—
		焼津市	洪水ハザードマップ (H18年3月公表) を各戸配布し、市のホームページで公開。	「計画・実績」市のホームページで公開。	「計画・実績」市のホームページでの閲覧を周知する。	「計画 (見直し)」想定最大浸没範囲に対するハザードマップを更新するとともに、市のホームページでの閲覧を周知する。	「計画 (見直し)」ハザードマップを印刷予定。		—	ハザードマップ更新や印刷に伴う予算の確保。	平成21年度からハザードマップを改訂する予定	
		藤枝市	洪水ハザードマップ (H18年4月公表) を各戸配布し、市のホームページで公開。	「計画・実績」市のホームページで公開。	「計画 (見直し)」想定最大浸没範囲に対するハザードマップを更新するとともに、市のホームページでの閲覧を周知する。	「計画 (見直し)」市のホームページで公開。			—	ハザードマップの更新や印刷に伴う予算の確保。	平成21年度にハザードマップを改訂する予定	
		黒 (河川)	市長の遊覧船などの発着判断の目安となる氾濫危険水位などの設定	小石川を新たに水位周知河川に指定する候補河川に選定。	「計画・実績」新たに水位周知河川に指定する候補河川に選定。	「計画・実績」設定に必要な水位データの蓄積を行う。			「計画」検針により水位周知河川に指定が可能であれば指定し、氾濫危険水位などを設定する。	—	水位周知河川の指定や氾濫危険水位の設定に当たっては関係市町との調整が必要。	検討の各段階において関係市町と調整しながら進めていく。
	13 水位観測施設・監視カメラの設置	黒 (河川)	—	「計画・実績」新たな水位計の設置候補河川に選定。	「計画・実績」接続に必要な水位計 (H=1基) を設置。	「計画」量水機、CCTVカメラなどの整備・拡充を検討し、必要があれば予算要望していく。			—	適切なデータ提供や効果検証が可能となるような設置機器や設置位置の検討が必要。	データの活用方法も含めた設置機器や設置位置の検討を行う。	
			焼津市	—	「計画・実績」豊田公民館にWEBカメラ (H=1基) を設置。	「計画・実績」量水機、CCTVカメラなどの整備・拡充の検討。			—	適切なデータ提供や効果検証が可能となるような機器の設置や設置位置の検討が必要。	データの活用方法も含めた機器の設置や設置位置の検討を行う。	
			藤枝市	—	「計画・実績」10の遊覧船用PWAを活用した水位計 (H=1基) を設置。	「計画・実績」量水機、CCTVカメラなどの整備・拡充の検討し、必要があれば予算要望していく。			—	適切なデータ提供や効果検証が可能となるような設置機器や設置位置の検討が必要。	データの活用方法も含めた機器の設置や設置位置の検討を行う。	
		黒 (河川)	中津 (焼津市)、藤枝 (藤枝市) の両車載データサイスレーダーでリアルタイムで発信。	「計画・実績」新たな水位計の設置候補河川に選定。サイスレーダーでリアルタイムの雨量情報を提供。	「計画・実績」防犯情報の追加や新たな情報提供方法を検討。河川に指定する水位計のデータも含め、サイスレーダーでリアルタイムの雨量情報を提供。				—	特になし	—	
			焼津市	やいづ防災メールによる避難情報などのメール配信。電子デジタルテレビなどを活用したリアルタイムの雨量・水位・防災情報の提供やブッシュの提供提供、双方両通信による民間からの情報収集	「計画・実績」豊田公民館にWEBカメラ (H=1基) を設置。焼津市水防監視システムを整備。やいづ防災メール、しずおか気象・防災情報メールへの登録を呼びかけた。	「計画・実績」焼津市水防監視システム拡充と周知。やいづ防災メール、しずおか気象・防災情報メールへの登録を呼びかける。			—	特になし	—	
			藤枝市	災害情報などのメール配信サービス「ネットオアメール」により、登録者に地震や台風などの防災情報などを提供。	「計画・実績」10の遊覧船用PWAを活用した水位計を設置。市のホームページやメール配信サービスにより、登録者に地震や台風などの防災情報などを提供。	「計画」市のホームページやメール配信サービスによる防災情報などを提供。広報ふじえだ8月5日号に水害に関する特集記事を掲載。			—	特になし	—	
15 防災意識の啓発	黒 (河川)	—	「計画・実績」パンフレットの作成・配布、出前講座の開催、学校での水防教育の推進。	「計画・実績」パンフレットの作成・配布、出前講座の開催、学校での水防教育の推進。				—	当該流域の浸水被害の軽減を目的とした取組を展開する必要がある。	当該流域の現状と課題や水アクションプランの取組等に関する啓発活動の展開について検討する。		
		焼津市	毎年自衛隊と連携し、水防演習を実施。市民広域において、水害に関する啓発を推進。排水ポンプ車の操作訓練を自治会に公開。防災出前講座を実施。	「計画・実績」水防演習、出前講座、防災学習室などを連携して、防災意識の啓発活動に取り組んだ。	「計画・実績」水防演習、出前講座、防災学習室などを連携して、防災意識の啓発活動に取り組む。			—	風水害に関する意識の啓発が必要。	水防演習、広域誌、訓練、防災出前講座、防災学習室等、様々なツールで風水害に関する意識の啓発を行う。		
	藤枝市	毎年5月に水防訓練を実施。平成28年度に4箇所 (累計193人) で出前講座を実施。平成29年度に11箇所 (累計193人) の地区防災連絡会 (累計752人) において風水害に関する講演を実施。	「計画・実績」水防訓練や出前講座などによる防災意識の啓発活動に取り組んだ。	「計画」水防訓練や出前講座などによる防災意識の啓発活動に取り組む。出前講座、15回 (累計695人) 地区防災連絡会: 9地区 (累計485人) 水害講演会 (3月実施予定)			—	風水害に対する防災意識を向上させるための啓発が必要	風水害に対する防災意識向上のための、水防訓練や出前講座による啓発を行う。			
	流域住民	—	「計画・実績」民や町民などが開催する出前講座や水害向上訓練、避難訓練などに積極的に参加。	「計画・実績」民や町民などが開催する出前講座や水害向上訓練、避難訓練などに積極的に参加し、洪水時の対応を身に付ける。				—	—	—		

小石川・黒石川流域総合的治水対策アクションプラン 進捗管理表 【小石川流域】 ソフト対策 (2/2)

対策メニュー	実施内容	実施機関	2016年度 (H28) までに実施した対策	アクションプラン 短期対策メニュー					2018年度 (H30) 末時点進捗率の評価 (◎:計画進捗率を上回る) (○:計画進捗率通り) (△:計画進捗率を下回る)	対策を実施する上での 問題点・課題	左記問題点・課題の 解決策・対応方針	
				2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (H32)	2021年度 (H33)				
ソフト対策	16 水防活動の支援	県(河川)	—	「計画・実績」 土のうステーションや水防資材保管場所を換計。	「計画・実績」 土のうステーションや水防資材保管場所の設置可能箇所を現地調査を実施し、設置可能箇所があれば予算化する。	「計画」 土のうステーションや水防資材保管場所の設置。	「計画」 水防資材の補充など水防活動の支援を実施。	—	—	水防団や自治会等の水防活動実施者との調整が必要。	水防団や自治会等の水防活動実施者との調整を行った上で、設置箇所等を決定する。	
		焼津市	平成28年度に排水ポンプ車を配備し、平成29年度から運用を開始。自治会に対して、土のうの提供や土のう作りの砂を支給。	「計画・実績」 土のうステーションの設置について検討。 排水ポンプ車を水防活動に活用。通常に対して、土のうの提供や土のう作りの砂を支給。	「計画・実績」 土のうステーションを1箇所設置した。 排水ポンプ車を水防活動に活用。自治会に対して、土のうの提供や土のう作りの砂を支給。	「計画」 土のうステーションの設置について検討。 排水ポンプ車を水防活動に活用。自治会に対して、土のうの提供や土のう作りの砂を支給。	—	—	水防団や自治会等の水防活動実施者との調整が必要。	水防団や自治会等の水防活動実施者との調整を行った上で、設置箇所等を決定する。		
		藤枝市	水防倉庫内の資材を補充している。	「計画・実績」 水防資材の適正な管理を実施。	「計画・実績」 土のうステーションや水防資材保管場所の設置可能箇所を現地調査を実施し、設置について検討。 水防資材の適正な管理を実施。	—	—	—	水防団や自治会等の水防活動実施者との調整が必要。	水防団や自治会等の水防活動実施者との調整を行った上で、水防資材の充実を図る。		
	17 種門・樋管の適正管理	県(河川)	施設管理者に対して、確実な点検や点検の実施や適正な運用・維持管理を指導。	「計画・実績」 施設管理者に対して、種門・樋管の確実な点検や点検の実施、適正な運用・維持管理の指導を徹底。	「計画・実績」 施設管理者に対して、種門・樋管の確実な点検や点検の実施、適正な運用・維持管理の指導を徹底。	—	—	—	—	特になし	—	
		藤枝市	大井川土地改良区や地元部農会役員と連携し種門などを点検することで、適正な運用に努めている。	「計画・実績」 種門・樋管の確実な点検や点検の実施、適正な運用・維持管理に努めている。	「計画・実績」 種門・樋管の確実な点検や点検の実施、適正な運用・維持管理に努めている。	—	—	—	—	特になし	—	
	18 取水施設の適正管理	焼津市	大雨の前に取水施設の閉鎖状況のハトールを行い、状況に応じて閉鎖作業を実施。	「計画・実績」 取水施設の適正な運用に努めた。	「計画・実績」 取水施設の適正な運用に努める。	—	—	—	—	—	特になし	—
		土地改良区	注意報や警報が発令される際の水防体制の実施、洪水時の適正な運用や河川管理者との連絡体制の確保	「計画・実績」 取水施設の適正な運用に努めた。	「計画・実績」 取水施設の適正な運用に努める。	—	—	—	—	—	特になし	—
	19 土地利用の適正指導	焼津市	焼津市土地利用指導要綱に基づき、1,000㎡以上の土地利用については、調整池整備を開発者に指導。	「計画・実績」 土地利用の適正な指導に努めた。	「計画・実績」 土地利用の適正な指導に努める。	—	—	—	—	—	特になし	—
		藤枝市	藤枝市土地利用に関する指導要綱に基づき、1,000㎡以上の土地利用・開発行為については、調整池整備を開発者に指導。	「計画・実績」 土地利用の適正な指導に努めた。	「計画・実績」 土地利用の適正な指導に努める。	—	—	—	—	—	特になし	—
	20 住居改良への支援	焼津市	既設住宅の耐水壁設置や建て替え時の宅地嵩上げに対する支援	「計画・実績」 過去に浸水被害を受けた地区の家庭について、嵩上げに対する助言を行った。	「計画・実績」 過去に浸水被害を受けた地区の家庭について、嵩上げに対する助言を行う。	—	—	—	—	—	特になし	—
		藤枝市	—	「計画」 既設住宅の耐水壁設置、嵩上げに対して助言。	「計画」 既設住宅の耐水壁設置、嵩上げに対して助言。	—	—	—	—	—	特になし	—

小石川・黒石川流域総合的治水対策アクションプラン 進捗管理表 【黒石川流域】 ハード対策 (1/2)

対策メニュー	実施内容	実施機関	2016年度 (H28) までに実施した対策	アクションプラン 短期対策メニュー					2018年度 (H30) 現時点進捗率の評価 (◎:計画進捗率を上回る) (○:計画進捗率通り) (△:計画進捗率を下回る)	対策を実施する上での 四角点・課題	左記四角点・課題の 解決策・対応方針					
				2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (H32)	2021年度 (H33)								
ハード対策 水位低下対策	1 河川改修	黒石川	H24～H28で河口から0.2kmまでの河川改修を実施。	<<計画>> 河川改修（左岸：鋼管矢張護岸工L=40.3m、右岸：鋼管矢張護岸工L=16m）を実施。 （進捗率：16%） <<実績>> 河川改修（左岸：鋼管矢張護岸工L=40.3m、右岸：鋼管矢張護岸工L=16m）を実施。 （進捗率：9%）	<<計画>> 河川整備計画に基づく河川改修を実施。 （進捗率：33%） <<実績>> 河川改修（左岸：鋼管矢張護岸工L=80m、右岸：鋼管矢張護岸工L=50m）を実施。 （進捗率：28%）	<<計画>> 河川整備計画に基づく河川改修を実施。 （進捗率：49%）	<<計画>> 河川整備計画に基づく河川改修を実施。 高橋架け替え工事に着手。 （進捗率：75%）	<<計画>> 河川整備計画に基づく河川改修を実施。 高橋架け替え工事を実施。 （進捗率：100%）	△	計画的な事業進捗により、早期効果発現を目指す必要がある。	工事実施に必要な予算確保に努める。					
			焼津市	H7～H27で（準）泓の川の河川改修を実施（L≒1.2km）。	—	—	—	—	—	—	—	—				
		藤枝市	暫定計画及び将来計画の策定と計画に基づく河川改修の実施。	<<計画>> 高瀬地区において局所的な河川改修を実施。（L≒50m） （進捗率：50%） <<実績>> 高瀬地区において局所的な河川改修を実施。 （進捗率：50%）	<<計画>> 現地調査等を行い、必要に応じて緊急対策部において局所的な河川改修を実施。 （進捗率：63%） <<実績>> 高瀬地区において局所的な河川改修を実施。 （進捗率：63%）	—	—	—	—	—	—	実現性や実施時期等について関係機関との調整及び予算確保が必要。	下流に影響を与えない範囲での暫定的な河川改修実施に向け、河川断面等を検討する。			
	2 下水道（雨水幹線）の整備	焼津市	流域内の雨水幹線の整備完了。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			藤枝市	平成28年度末までに、9排水区中4排水区の整備が完了（一部未整備を含む）。	<<計画>> 下水道事業による浸水対策を実施するために雨水管理総合計画を策定し、そのシミュレーション結果等を踏まえ、全体計画を策定。 （進捗率：32%） <<実績>> 効率的かつ総合的な浸水対策の実施を図るため、雨水管理総合計画を策定を始めた。 （進捗率：32%）	<<計画>> 下水道事業による浸水対策事業費の削減のための雨水設計計画及び基本設計を策定。 （進捗率：39%） <<実績>> 雨水幹線整備のための基本設計を実施。 （進捗率：58%）	—	—	—	<<計画（見直し）>> 雨水幹線整備に向けて詳細設計を実施する。 （進捗率：100%）	○	実現性や実施時期等について関係機関との調整及び予算確保が必要。	関係機関との具体的な調整を進め、早期工事着手に必要な予算確保に努める。			
	3 農業取水設備の改良・統合	焼津市	河川改修に合わせた農業取水設備の改良または統合に向けた協議の推進	<<計画>> 施設点検を実施し、設備の故障などによる取水時の操作遅れなどの予防保全に努める。 （進捗率：100%） <<実績>> 施設点検を実施し、設備の故障や老朽化に備えた予防保全を実施。 （進捗率：100%）	<<計画>> 施設点検を実施し、設備の故障などによる取水時の操作遅れなどの予防保全に努める。 （進捗率：100%） <<実績>> 施設点検を実施し、設備の故障や老朽化に備えた予防保全を実施。 （進捗率：100%）	—	—	—	—	○	特になし	—				
			藤枝市	全ての水門は水位感知システムにより自動的に水門上流部から下流へ放流が可能。高橋架け替えを実施し、設備の故障や老朽化に備えた予防保全を実施。	<<計画>> 施設の点検を実施し、設備の故障などによる取水時の操作遅れなどの予防保全に努める。 （進捗率：100%） <<実績>> 施設の点検を実施し、設備の故障や老朽化に備えた予防保全を実施。 （進捗率：100%）	<<計画>> 施設の点検を実施し、設備の故障などによる取水時の操作遅れなどの予防保全に努める。 （進捗率：100%） <<実績>> 施設の点検を実施し、設備の故障や老朽化に備えた予防保全を実施。 （進捗率：100%）	—	—	—	—	—	—	—			
	4 排水系統（排水先）の見直し	焼津市	排水路の整備状況の把握と必要な排水路整備の実施	流域内の水路整備を実施。	<<計画>> 地域の要望を踏まえ、現況排水路を調査し、調査し、修繕工事を実施。 （進捗率：20%） <<実績>> 地域の要望を踏まえ、現況排水路を調査し、調査し、修繕工事を実施。 （進捗率：20%）	<<計画>> 必要に応じて、現況排水路の排水系統を調査し、排水路の改善や排水先の見直し等の調整を行う。 （進捗率：40%） <<実績>> 必要に応じて、現況排水路の排水系統を調査し、排水路の改善や排水先の見直し等の調整を行う。 （進捗率：40%）	—	—	—	○	対策実施に必要な予算の確保や地域住民との調整が必要。	必要な予算確保に努めるとともに、地域住民との調整を図る。				
			藤枝市	排水の分水や能力不足の排水路のバイパス水路の整備を実施。	<<計画>> 現況排水路の排水系統の調査を実施。 （進捗率：20%） <<実績>> 高瀬地区において流下能力不足の排水路の局所的な改修（L=40m）を実施。 （進捗率：31%）	<<計画>> 現況排水路の排水系統を調査し、流下能力不足の排水路の改善に向けた排水先との調整を実施。 （進捗率：40%） <<実績>> 高瀬地区において流下能力不足の排水路の局所的な改修（L=40m）を実施。 （進捗率：50%）	<<計画>> 現地調査を行い、必要に応じて排水路の改善を実施。 （進捗率：60%）	◎	対策実施に必要な予算の確保が必要。対策実施に伴い浸水箇所が他に転移することが無いように注意が必要。	必要な予算確保に努めるとともに、地元との協力を得て工事を実施する。						
	5 河川の適切な維持管理	黒石川	河川状況の監視し、必要に応じて浸漕等を実施。	<<計画>> 河川監視を年1回実施。 （進捗率：20%） <<実績>> 河川監視をH29.5に実施。 （進捗率：20%）	<<計画>> 河川監視を年1回実施予定。 河川監視の結果等を踏まえ、必要に応じて浸漕や樹木伐採等を実施。 リバーフレンドシップ制度の周知と登録を推進。 （進捗率：40%） <<実績>> 河川監視をH30.5に実施。 （進捗率：40%）	—	—	—	—	○	現状を的確に把握し、適時・適切に対応する必要がある。	河川監視を計画的に実施するとともに、対応に必要な予算確保に努める。				
焼津市			河川監視を行い、樹木伐採等を実施。市内全域で年2回、朝溝・河川清掃を実施。リバーフレンドシップ制度の登録（3団体）	<<計画>> 河川監視を年1回実施（H29.7）実施。 地域住民が年2回、朝溝・河川清掃を実施。 リバーフレンドシップ制度の登録の推進。 （進捗率：20%） <<実績>> 河川監視を年1回実施（H29.7）実施。 地域住民が年2回、朝溝・河川清掃を実施。 リバーフレンドシップ制度の登録の推進。 （進捗率：20%）	<<計画>> 河川監視を年1回実施予定。 河川監視の結果等を踏まえ、必要に応じて浸漕や樹木伐採等を実施。 地域住民が年2回、朝溝・河川清掃を実施予定。 リバーフレンドシップ制度の登録の推進。 （進捗率：40%） <<実績>> 河川監視を年1回実施予定。 河川監視の結果等を踏まえ、必要に応じて浸漕や樹木伐採等を実施。 地域住民が年2回、朝溝・河川清掃を実施予定。 リバーフレンドシップ制度の登録の推進。 （進捗率：40%）	—	—	—	○	定期的に河川監視を行い、河川状況の把握に努める必要がある。	定期的に河川監視を行い、必要対策を実施する。					
藤枝市		河川状況の監視し、必要に応じて浸漕などを実施。	<<計画>> 河川監視を年8回実施。 高瀬地区で除草（A=20m2）を実施。 地域住民が年2回、朝溝・河川清掃を実施。 （進捗率：20%） <<実績>> 河川監視を年8回実施。 高瀬地区で除草（A=20m2）を実施。 地域住民が年2回、朝溝・河川清掃を実施。 （進捗率：20%）	<<計画>> 河川監視を年8回実施予定。 河川監視の結果等を踏まえ、必要に応じて浸漕や樹木伐採等を実施。 地域住民が年2回、朝溝・河川清掃を実施予定。 （進捗率：40%） <<実績>> 河川監視を年8回実施予定。 河川監視の結果等を踏まえ、必要に応じて浸漕や樹木伐採等を実施。 地域住民が年2回、朝溝・河川清掃を実施予定。 （進捗率：40%）	—	—	—	—	○	定期的に河川監視を行い、現状を的確に把握し、適切に対応する必要がある。	河川監視を計画的に実施するとともに、対応に必要な予算確保に努める。					

対策メニュー	実施内容	実施機関	2016年度 (H28) までに実施した対策	アクションプラン 短期対策メニュー					2018年度 (H30) 末時点進捗率の評価 (○:計画進捗率を上回る) (◎:計画進捗率通り) (△:計画進捗率を下回る)	対策を実施する上での 四角点・課題	左記四角点・課題の 解決策・対応方針		
				2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (H32)	2021年度 (H33)					
6	雨水貯留浸透施設 の設置	流域内の学校や公園などの 公共施設の敷地内で雨水の一時的 貯留を可能にする施設の設置	県 (河川)	—	<<計画>> 県管理施設へ雨水貯留浸透施設の 整備が可能な設計を実施。 (進捗率: 20%) <<実績>> (進捗率: 0%)	<<計画>> 県管理施設へ雨水貯留浸透施設の 整備が可能な設計を実施。整備 可能な県管理施設における 関係機関との調整を実施。 (進捗率: 40%) <<実績>> (進捗率: 0%)	<<計画>> 整備可能な県管理施設における 関係機関との調整を進め、 整備計画を立案。 (進捗率: 60%)	<<計画>> 整備可能な県管理施設における 雨水貯留浸透施設の整備を実施。 (進捗率: 80%)	<<計画>> 整備可能な県管理施設における 雨水貯留浸透施設の整備を実施。 (進捗率: 100%)	△	実現性や実施方法を検討し、早期に対象施設を選定して整備計画を立案する必要がある。	早期の対象施設の選定、整備計画の立案を 目指し、施設管理部門との調整を進める。	
			焼津市	平成28年度に小川公園で140m ³ の雨水貯留 施設を設置。	<<計画>> 市管理施設へ雨水貯留浸透施設の 整備が可能な設計を実施。 (進捗率: 20%) <<実績>> (進捗率: 20%)	<<計画>> 市管理施設へ雨水貯留浸透施設の 整備が可能な設計を実施。整備 可能な場合、整備に向けて関 係機関との調整を実施。 (進捗率: 40%) <<実績>> (進捗率: 40%)				○	雨水貯留浸透施設の設置について関係課と の調整が必要。	雨水貯留浸透施設の設置について関係課と 調整を進める。	
			藤枝市	—	<<計画>> 下水道事業による浸水対策を 実施するために雨水管理総合計画 を策定し、そのシミュレーション 結果等を踏まえ、全体計画を 策定。 (進捗率: 20%) <<実績>> 加勢のかつ総合的な浸水対策の 実施を図るため、雨水管理総合 計画を策定を進めた。 (進捗率: 20%)	<<計画>> 下水道事業による雨水貯留浸透 施設の整備のための雨水施設計 画及び基本設計を策定。 (進捗率: 40%) <<実績>> 貯留浸透施設の規模、位置、貯 留方法について検討する。 (進捗率: 40%)				○	実現性や実施時期等について関係機関との 調整及び予算確保が必要。	整備可能な箇所の選定や規模等を決定し、 早期工事着手に必要な予算確保に努める。	
7	透水性舗装の整備	歩道・駐車場の透水性舗装化 の推進 (東名高速道路、飛 道、市道、工場など)	県 (道路)	—	—	<<計画>> 歩道などの整備の際は積極的に 透水性舗装を採用。 (進捗率: 25%) <<実績>> (進捗率: 0%)				△	透水性舗装を施工する箇所のルール作りが 必要。	透水性舗装を実施するため、道路管理者との 協議する。	
			焼津市	小川石津線、石津下小田線、黒石通り線、 東小川8-2号線の歩道舗装を透水性舗装で 整備。	<<計画>> 小川石津線、石津下小田線の歩 道を透水性舗装で整備 (A=2,000m ²) (進捗率: 20%) <<実績>> (進捗率: 20%)	<<計画>> 歩道などの整備の際は積極的に 透水性舗装を採用。 (進捗率: 40%) <<実績>> (進捗率: 40%)				○	道路管理者・事業者との連携が必要。	道路管理者・事業者と連携し、透水性舗装 を実施する。	
			藤枝市	—	—	<<計画>> 歩道などの整備の際は積極的に 透水性舗装を採用。 (進捗率: 25%) <<実績>> (進捗率: 0%)					△	透水性舗装を施工する箇所のルール作りが 必要。	透水性舗装を実施するため、道路管理者と 協議を進め、整備可能な箇所の透水性舗装 を実施する。
8	各戸での流出抑制 施設設置の推進	各戸での雨水貯留タンクや浸 透網などの雨水流出抑制施設 設置の普及・促進	焼津市	開発許可が必要な1,000㎡以上の宅地分譲 事業に、各区毎の雨水貯留浸透施設を設 置。	<<計画>> 各戸での流出抑制のため、宅地 分譲事業において雨水貯留浸透 網を設置 設置実績: 4件、43区画 (進捗率: 20%) <<実績>> (進捗率: 20%)	<<計画>> 各戸での流出抑制施設の設置を 促進する。 (進捗率: 40%) <<実績>> (進捗率: 40%)				○	各戸での雨水流出抑制施設の設置の必要性 を説明する必要がある。	当該流域の現状と課題と雨水流出抑制施設 の設置について説明を行う。	
			藤枝市	—	—	<<計画>> 各戸での流出抑制施設の設置を 促進する。 (進捗率: 25%) <<実績>> (進捗率: 0%)	<<計画 (見直し)>> 各戸での雨水貯留浸透施設設置 補助金制度創設に向け浸 透網の普及率の検討を進める。 (進捗率: 50%)	<<計画 (見直し)>> 各戸での雨水貯留浸透施設設置 補助金制度創設に向け浸 透網の普及率の検討を進める。 (進捗率: 100%)			○	浸透網の選定と補助金制度創設のための 財源確保が必要。	地下水位を既存資料等で調査し、浸透網 を選定する。 他市の事例を参考に補助要件、補助額等 を決定する。
			流域住民	—	<<計画>> 各戸での雨水貯留タンクや浸透 網等の流出抑制施設の設置を推 進する。 <<実績>> 黒石川流域内における各戸での 流出抑制施設の設置実績: 4件、 43区画。	<<計画>> 各戸での雨水貯留タンクや浸透 網等の流出抑制施設の設置を推 進する。 <<実績>>					—	—	—
9	農地の保水機能の 保全	既存の水田や耕作地など保水 機能を維持し続けるための農 地の適正管理の指導	焼津市	農業者へ農地保全に関する協力を依頼。	<<計画>> 農業者へ農地保全に関する協力を 依頼。 (進捗率: 20%) <<実績>> (進捗率: 20%)	<<計画>> 農業者へ農地保全に関する協力を 依頼。 (進捗率: 40%) <<実績>> (進捗率: 40%)				○	当該流域における農地の保水機能を保全す る必要がある。	既存資料等を活用したPR方法について検討 する。	
			藤枝市	農業者へ農地保全に関する協力を依頼。	<<計画>> 農業者へ農地保全に関する協力を 依頼。 (進捗率: 20%) <<実績>> (進捗率: 20%)	<<計画>> 農業者へ農地保全に関する協力を 依頼。 (進捗率: 40%) <<実績>> (進捗率: 40%)				○	当該流域における農地の保水機能を保全す ることの重要性を周知する必要がある。	農地の保水機能に関する啓発方法について 検討し、実施する。	
10	防災調整池などの 有効利用	既設の防災調整池やため池の 管理者に対する適正管理の指 導	焼津市	防災調整池の管理者に対する適正な指導を 実施。	<<計画>> 防災調整池等の管理者への指導。 (進捗率: 20%) <<実績>> (進捗率: 20%)	<<計画>> 防災調整池等の管理者への適正 な指導を実施。 (進捗率: 40%) <<実績>> (進捗率: 40%)				○	防災調整池を適正に維持管理する必要があ る。	適正な管理が行われるよう、必要に応じて 管理者に説明を行う。	
			藤枝市	防災調整池の管理者に対する適正な指導を 実施。	<<計画>> 防災調整池等の管理者への適正 な指導を実施。 (進捗率: 20%) <<実績>> (進捗率: 20%)	<<計画>> 防災調整池等の管理者への適正 な指導を実施。 (進捗率: 40%) <<実績>> (進捗率: 40%)				○	当該流域における防災調整池の重要性を周 知する必要がある。	防災調整池の適正な管理が行われるよう、 必要に応じて管理者に指導する。	

ハード対策

対策メニュー	実施内容	実施機関	2016年度 (H28) までに実施した対策	アクションプラン 短期対策メニュー					2018年度 (H30) 現時点進捗率の評価 (◎: 計画進捗率を上回る) (○: 計画進捗率通り) (△: 計画進捗率を下回る)	対策を実施する上での 問題点・課題	左記問題点・課題の 解決策・対応方針	
				2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (H32)	2021年度 (H33)				
ソフト対策	11 洪水ハザードマップなどの作成・周知	黒石川	インターネットにより浸水想定区域図(021年4月公表)を公開。	「計画・実績」インターネットによる浸水想定区域図の周知を実施。	「計画・実績」インターネットに加え、水防訓練の印刷や出前講座などにより浸水想定区域図を周知する。				—	特になし	—	
			焼津市	浸水想定区域図が掲載されている市のホームページを市民に案内。	「計画・実績」市のホームページを案内し、浸水想定区域図の周知を実施。	「計画・実績」市のホームページを案内し、浸水想定区域図を周知する。				—	特になし	—
			藤枝市	—	「計画・実績」市のホームページを案内し、浸水想定区域図の周知を実施。	「計画・実績」市のホームページを案内し、浸水想定区域図を周知する。				—	特になし	—
		焼津市	洪水ハザードマップ(018年3月公表)を各戸配布し、市のホームページで公開。	「計画・実績」市のホームページで公開。	「計画・実績」市のホームページの閲覧を周知する。	「計画(見直し)」想定最大規模降雨に対するハザードマップを更新するとともに、市のホームページでの閲覧を周知する。	「次計画(見直し)」ハザードマップを印刷予定。		—	ハザードマップ更新や印刷に伴う予算の確保。	平成21年度からハザードマップを改訂する予定	
		藤枝市	洪水ハザードマップ(018年4月公表)を各戸配布し、市のホームページで公開。	「計画・実績」市のホームページで公開。	「計画・実績」市のホームページで公開する。	「計画(見直し)」想定最大規模降雨に対するハザードマップを更新するとともに、市のホームページでの閲覧を周知する。	「次計画(見直し)」市のホームページで公開する。		—	ハザードマップの更新や印刷に伴う予算の確保。	平成21年度にハザードマップを改訂する予定	
		藤枝市	内水ハザードマップの作成・周知	「計画・実績」雨水管理総合計画を策定し、内水シミュレーションを実施。			「計画」内水シミュレーション結果に基づき、内水ハザードマップを作成する。	「計画」市のホームページで公開し、周知を図る。		ハザードマップ作成や印刷に伴う予算の確保。	ハザードマップ作成に伴う予算の確保に努める。	
	12 氾濫危険水位などの設定	黒石川	市長の登壇勧告などの発令制の目安となる氾濫危険水位などの設定	—	「計画・実績」設定の必要性について検討するとともに、設定に必要な水位データの蓄積を行う。				—	水位周知河川の指定や氾濫危険水位の設定に当たっては関係市町との調整が必要。	検討の各段階において関係市町と調整しながら進めていく。	
			13 水位観測施設	水位計、量水機、GTVカメラ、WEBカメラなどの監視システム構築	「計画・実績」新たな水位計の設置候補河川に選定。	「計画・実績」観音石橋に気象観測型水位計(01)を1基を設置。	「計画」量水機、GTVカメラなどの整備・拡充を検討し、必要があれば予算要望していく。		—	適切なデータ提供や効果検証が可能となるような設置機器や設置位置の検討が必要。	データの活用方法も含めた設置機器や設置位置の検討を行う。	
	13 水位観測施設	焼津市	—	「計画・実績」量水機、GTVカメラなどの整備・拡充の検討。	「計画・実績」量水機、GTVカメラなどの整備・拡充の検討。				—	適切なデータ提供や効果検証が可能となるような機器の設置や設置位置の検討が必要。	データの活用方法も含めた機器の設置や設置位置の検討を行う。	
			藤枝市	—	「計画・実績」10lの通信型EPAを活用した水位計(N-1基)を設置。	「計画・実績」水位計、量水機などの整備・拡充の検討し、必要があれば予算要望していく。				—	適切なデータ提供や効果検証が可能となるような設置位置の検討が必要。	データの活用方法も含めた機器の設置や設置位置の検討を行う。
			黒石川	中津(焼津市)、藤枝(藤枝市)の高量観測データをサイネージリーダーでリアルタイムで発信。	「計画・実績」新たな水位計の設置候補河川に選定。サイネージリーダーでリアルタイムの雨量情報を提供。	「計画・実績」防災情報の追加や新たな情報提供方法を検討。新たな決定する水位計のデータも含め、サイネージリーダーでリアルタイムの雨量情報を提供。				—	特になし	—
14 防災情報の共有化	焼津市	インターネット、携帯電話、スマートフォン、タブレットなど、地上デジタルテレビなどを活用したリアルタイムの雨量、水位、防災情報の提供やウェブ上の情報提供、双方向通信による民間からの情報収集	「計画・実績」焼津市水防監視システムを整備。やいづ防災メール、しずおか気象・防災情報メールへの登録を呼びかけた。	「計画・実績」焼津市水防監視システム拡充と運用。やいづ防災メール、しずおか気象・防災情報メールへの登録を呼びかける。				—	特になし	—		
		藤枝市	災害情報などのメール配信サービス「クラウドメール」により、登録者に地震や台風などの防災情報などを提供。	「計画・実績」10lの通信型EPAを活用した水位計の設置。市ホームページやメール配信サービスによる防災情報などを提供。	「計画・実績」市ホームページやメール配信サービスによる防災情報などを提供。 「実績」広域ふじした8月5日号に水害に関する特集記事を掲載。				—	特になし	—	
		黒石川	—	「計画・実績」パンフレットの作成・配布、出前講座の開催、学校での水防災教育の推進。	「計画・実績」パンフレットの作成・配布、出前講座の開催、学校での水防災教育の推進。				—	当該流域の浸水被害の軽減を目的とした取組を展開する必要がある。	当該流域の現状と課題や水アクションプランの取組等に関する啓発活動の展開について検討する。	
15 防災意識の啓発	焼津市	毎年自衛隊と連携し、水防演習の実施。市民広域に対して、水害に関する特集を掲載。排水ポンプ車の操作訓練を自治会に公開。防災出前講座を実施。	「計画・実績」水防演習、防災出前講座、防災学習会などを通して、防災意識の啓発活動に取り組んだ。	「計画・実績」水防演習、防災出前講座、防災学習会などを通して、防災意識の啓発活動に取り組む。				—	風水害に関する意識の啓発が必要。	水防演習、広報誌、訓練、防災出前講座、防災学習会等、様々なツールで風水害に関する意識の啓発を行う。		
		藤枝市	毎年5月に水防訓練を実施。平成28年度4種所(累計93人)で出前講座を実施。 ・平成28年度に11箇所の地区防災連絡会(累計72人)において風水害に関する講演を実施。	「計画・実績」水防訓練や出前講座などによる防災意識の啓発活動に取り組んだ。 「実績」出前講座:15回(累計695人) 地区防災連絡会:9地区(累計485人) 水害講演会(3月実施予定)	「計画」水防訓練や出前講座などによる防災意識の啓発活動に取り組む。 「実績」出前講座:15回(累計695人) 地区防災連絡会:9地区(累計485人) 水害講演会(3月実施予定)				—	風水害に対する防災意識を向上させるための啓発が必要	風水害に対する防災意識向上のため、水防訓練や出前講座による啓発を行う。	
	流域住民	—	「計画・実績」県や市町などが開催する出前講座や水害向上訓練、避難訓練などに積極的に参加し、洪水時の対応を身に付ける。	「計画・実績」県や市町などが開催する出前講座や水害向上訓練、避難訓練などに積極的に参加し、洪水時の対応を身に付ける。				—	—	—		
	黒石川	—	「計画・実績」—	「計画・実績」—				—	—	—		

対策メニュー	実施内容	実施機関	2016年度 (H28) までに実施した対策	アクションプラン 短期対策メニュー					2018年度 (H30) 末時点進捗率の評価 (◎:計画進捗率を上回る) (○:計画進捗率通り) (△:計画進捗率を下回る)	対策を実施する上での 問題点・課題	左記問題点・課題の 解決策・対応方針
				2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (H31)	2020年度 (H32)	2021年度 (H33)			
ソフト対策	16 水防活動の支援	水防活動や緊急復旧活動を行なうための費機材など(水防倉庫・資機材、排水ポンプ車、土のうステーション(備蓄砂置き場)など)の充実	県(河川)	—	「計画・実績」 土のうステーションや水防資材保管場所を検討。	「計画・実績」 土のうステーションや水防資材保管場所の設置可能箇所があれば予算を要する。	「計画」 土のうステーションや水防資材保管場所の設置。	「計画」 水防資機材の研究など水防活動の支援を実施。	—	水防団や自治会等の水防活動実施者との調整が必要。	水防団や自治会等の水防活動実施者との調整を行った上で、設置箇所等を決定する。
			焼津市	平成26年度に排水ポンプ車を配備し、平成27年度から運用を開始。 自治会に対して、土のうの提供や土のう作りの砂を支給。	「計画・実績」 土のうステーションの設置について検討。 排水ポンプ車を水防活動に活用。 自治会に対して、土のうの提供や土のう作りの砂を支給。	「計画・実績」 土のうステーションの設置について検討。 排水ポンプ車を水防活動に活用。 自治会に対して、土のうの提供や土のう作りの砂を支給。			—	水防団や自治会等の水防活動実施者との調整が必要。	水防団や自治会等の水防活動実施者との調整を行った上で、設置箇所等を決定する。
			藤枝市	水防倉庫内の資材を補充している。	「計画・実績」 水防資材の適正な管理を実施。	「計画・実績」 土のうステーションや水防資材保管場所の設置可能箇所の現地調査を実施し、設置について検討。 水防資材の適正な管理を実施。			—	消防団や自治会等の水防活動実施者との調整が必要。	消防団や自治会等の水防活動実施者との調整を行った上で、水防資機材の充実を図る。
	17 樋門・樋管の適正管理	樋門・樋管の確実な点検や点検の適正な実施、洪水時の適正な運用や河川管理者との連絡体制の確保	県(河川)	施設管理者に対して、確実な点検や点検の実施や適正な運用・維持管理を指導。	「計画・実績」 施設管理者に対して、樋管・樋門の確実な点検や点検の適正な実施、適正な運用・維持管理の指導を徹底。	「計画・実績」 施設管理者に対して、樋管・樋門の確実な点検や点検の適正な実施、適正な運用・維持管理の指導を徹底。			—	特になし	—
			藤枝市	大井川土地改良区や地元部農会役員と連携し樋門などを閉鎖することで、適正な運用に努めている。	「計画・実績」 樋管・樋門の確実な点検や点検の適正な実施、適正な運用・維持管理に努めた。	「計画・実績」 樋管・樋門の確実な点検や点検の適正な実施、適正な運用・維持管理に努めた。			—	特になし	—
	18 取水施設の適正管理	取水施設の確実な点検や点検の適正な実施、洪水時の適正な運用や河川管理者との連絡体制の確保	焼津市	大雨の前に取水施設の閉鎖状況のハトローを行い、状況に応じて閉鎖作業を実施。	「計画・実績」 取水施設の適正な運用に努めた。	「計画・実績」 取水施設の適正な運用に努める。			—	特になし	—
			土地改良区	注意報や警報が発令される際の取水施設の閉鎖、制水門の開放取水口の閉鎖。 本川の1号～10号水門は、止水球の自動感知システムで放流。(9号遊法済み) 地域の管理人や委託業者による出水時に現地確認を実施。 かながわ閉鎖前に点検を実施し、作動確認を実施。	「計画・実績」 取水施設の適正な運用に努めた。	「計画・実績」 取水施設の適正な運用に努める。			—	特になし	—
	19 土地利用の適正指導	開発に伴う流出場に対応する調整などの確実な整備を促すための適正な土地利用の指導	焼津市	焼津市土地利用指導要綱に基づき、1,000㎡以上の土地利用については、調整池整備を開発者に指導。 都市計画法に基づき、市街化区域の1,000㎡以上の開発行為については、調整池整備を開発者に指導。	「計画・実績」 土地利用の適正な指導に努めた。	「計画・実績」 土地利用の適正な指導に努める。			—	特になし	—
			藤枝市	藤枝市土地利用に関する指導要綱に基づき、1,000㎡以上の土地利用については、調整池整備を開発者に指導。	「計画・実績」 土地利用の適正な指導に努めた。	「計画・実績」 土地利用の適正な指導に努める。			—	特になし	—
	20 住居改良への支援	既設住宅の耐水壁設置や建て替え時の宅地嵩上げに対する支援	焼津市	過去に浸水被害を受けた地区の家屋について、嵩上げに対する助言を行った。	「計画・実績」 過去に浸水被害を受けた地区の家屋について、嵩上げに対する助言を行った。	「計画・実績」 過去に浸水被害を受けた地区の家屋について、嵩上げに対する助言を行う。			—	特になし	—
			藤枝市	—	「計画」 既設住宅の耐水壁設置、嵩上げに対して助言	「計画」 既設住宅の耐水壁設置、嵩上げに対して助言			—	特になし	—